

※記載例を参照の上、ご記入ください。

企業・団体名 (                                  )                                  (株)ネクサス

(様式第3号)

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件 2) 【R5.9.5変更】

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
人権・労働	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	毎週の勉強会で差別を防ぐ体質や差別が無いことを確認している。							5.1 5.2 5.5						8.5 8.7 8.8									16.1 16.2 16.7	
	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	同上							5.1 5.2 5.5						8.5 8.8									16.1	
	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	原則残業なしを推奨し、長時間の残業が発生しないよう継続して取り組んでいる。														8.5 8.8									
	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	全ての人に同じ対応ができるよう共有し、差別が起きないように取り組んでいる。					4.4									8.7 8.8		10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	毎朝のラジオ体操、ストレッチ、チェックインを通して、体調・精神の健康状態を皆で確認している。								3						8									
	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	健康セミナー、運動セミナーを開催し、維持できるように取り組んでいる。									3														
	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	勉強会を通じて、個性属性を尊重した環境を整えている。								5.1 5.5						8.5		10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	資格取得の推進で、個々の能力や可能性のUPを図っている。					4	5.5								8	9								
	<input type="checkbox"/>	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	個性属性能力に合った、公平な賃金体制を構築します。								5.5						8.5		10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	積極的に、心身健康に向けた取り組みを行っています。年2回の運動セミナーの実施を目指します。									3					8									
環境	<input type="checkbox"/>	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	資源の分別を、個人・組織それぞれで高めるよう話し合いを実施しています。																	11.6	12		14.1			
	<input type="checkbox"/>	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	出来る限り自然空調を行い、エネルギーの無駄遣いを無くすよう皆で気を付けています。																			13				
	<input type="checkbox"/>	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	暖機運転の時間短縮や節電など、皆で話し合って抑制効果を高めようとしています。														7.2 7.3					12.4	13.3			
	<input type="checkbox"/>	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	基本的には扱わないようにしています。									3.9					6.3					11.6	12.4			

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
環境	<input type="checkbox"/>	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	自然環境を大切にしながら、営業車の暖機運転時間の短縮を行っています。						6.6								15			
	<input type="checkbox"/>	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	ごみの減量と分別による再資源化を促進しています。										13		14.1					
	<input type="checkbox"/>	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ						6.4 6.6												
	<input type="checkbox"/>	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
	<input type="checkbox"/>	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ												12.6						
	<input type="checkbox"/>	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	分別による再資源化を促進しています。						7.2						13					
	<input type="checkbox"/>	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ												12.2	13	14	15			
公正な事業慣行	<input type="checkbox"/>	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	継続的な勉強会の実施で、間違ったことをしないだけでなく、人の役に立ち、喜ばれるような言動推進をすすめています。														16 16.5			
	<input type="checkbox"/>	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	同上															16		
	<input type="checkbox"/>	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	同上								8.2 8.3	9								
	<input type="checkbox"/>	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	センシティブ情報を扱うので、常に勉強会を通じて確認しています。															16		
	<input type="checkbox"/>	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
	<input type="checkbox"/>	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
<input type="checkbox"/>	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	パートナーシップ構築宣言を作成公表しました。			3					8	9	10						17		

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
29	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	「お客様の声」やアンケートの共有で、更なるレベルUPと改善を目指します。			3.9								12.4											
30	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	毎週の勉強会で、常にレベルUPと改善を目指しています。									9													
31	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6					12	13	14	15								
32	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
33	□	【地域への配慮】 ・自事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	周辺から慕われ喜ばれることを意識した、「事故ゼロ運動」や「クリーン作戦」を毎月実施しています。				4						9		11	12			14	15			17		
34	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	同上 また、中学生に対し、高齢者疑似体験などの実施お手伝いをしています。				4												11			14	15	17	
35	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外販）している	チャレンジ										8	9		11	12	13								
36	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有している	基本	毎週読み合わせし、経営理念に基づいた話を司会者が行っています。										8	9										17	
37	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	商品・営業の「基本及び法令遵守を定期的に学ぶこと」で、仕組みを構築しています。																					16	
38	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	役員が担当し、挨拶の仕方や優しい運転の仕方をはじめ、地域に喜ばれ環境にやさしい活動を推進しています。																					16	
39	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	アンケートやお客様の声などの共有で、適切に対応しています。																					16	17
40	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																						16	
41	□	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいます	チャレンジ																						16	
42	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCPの策定をし、毎年見直しをしています。									9		11			13	13.1						16	
43	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	若手育成、合併など様々な観点から、自営業承継をすすめています。								8	9												17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
-------------------	--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----


**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
  - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
  - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定